

# 実物資料で展示学ぶ

## 学芸員課程 博物館実習

### 生田2号館 新設の実習室を活用



多くの学生が展示を見学した12月19日

学芸員課程「博物館実習」では今年度、実物資料の展示実習を導入した。テーマに即して学生それぞれが展示を構成し、公開も行った。昨年4月から利用開始となった生田2号館は、新たに博物館実習室と展示実習室を備えており、従来から一歩進んだ実習が可能となった。

博物館実習は内田欽三経営学部教授と高島裕之文学部准教授が担当し、週4コマ開講。授業は美術資料、特別展に関する知識、考古・工芸資料の記録法などを学ぶ学内実習と、各博物館で実務を学ぶ館務実習で構成される。



パネルや資料を配置する受講生=12月15日

の通年科目。今年度は学芸員資格取得を目指す3年次生以上51人が受講し、12月に実施した後期の展示実習の統一テーマは「おススメしたい」の四つの題目に添って展示を構成した。博物館実習室と展示実習室を本格的に活用する形となった。

金曜日限チームは実習の概要紹介を担当。授業で実施したスケッチや拓本の様子を、実物資料とともにパネルで紹介した。手前に配置するのは資料が説明パネルか。思案する学生に高島准教授が「見る人に何を一番伝えたいか考えて」と助言する。悩んだ末、説明パネルとスケッチを前面に置いた。説明文を考え

るのも学生。塚田大貴さん(文3)は「簡潔に伝えるためにはどうすればいいか、とても難しかった」と語る。

土曜日限チームは藍染体験の展示に取り組んだ。作品に広いスペースを取り、順番を意識して説明パネルを配置。宗村英利香さん(人間科学3)は「みんなで見え出し合いながら、楽しく作業できた」と話した。

授業全般を通じて佐々木菜々さん(文3)は「学芸員の仕事は研究だけではない、展示の企画や実際のレイアウト、工作など幅広い。もっと知識を深めなくては」と決意を新たにしていた。

高島准教授は「昨年末

は素晴らしいこと。講師の中には五輪金メダリストがいるし、大学の施設を使えるところもうれい」と充実した講座内容を話す。

講座は来年度も継続して行われる。

での実習は「資料をみる目を養う」ところまでだったが、展示実習ができるようになり、さらに深く、活きた学びができるようになった。始まったばかりで手探りだが、いつか実習生企画の展示会を開催できるようにしたい」と話している。

展示は12月18日から21日の昼休みに公開した。

「博物館実習」。各コマの受講生がガラスケース1〜2個と壁面展示を担当し、概要「知識」「体験」「おススメしたい」の四つの題目に添って展示を構成した。博物館実習室と展示実習室を本格的に活用する形となった。

金曜日限チームは実習の概要紹介を担当。授業で実施したスケッチや拓本の様子を、実物資料とともにパネルで紹介した。手前に配置するのは資料が説明パネルか。思案する学生に高島准教授が「見る人に何を一番伝えたいか考えて」と助言する。悩んだ末、説明パネルとスケッチを前面に置いた。説明文を考え

の。その基準となる「私」は主格(I)でなければならない、と思っていた。実際、ドイツ語では比較の対象(sie)に合わせて、その基準(ich)も主格になっている。ところが、こんにちの英語では違うらしい。

常用: She is older than me.  
まれ: She is older than I.

ああ、学校文法の弊害。そう嘆きたくなるが、私にはこの現象が「面白い」。たしかに、現在の英語では後者は古めかしい言い方かもしれないが、ドイツ語を学んだ私にはこちらの方が正統派に見えるのである。何となく、現代の変化に対応させる英語と昔ながらの規則を守るドイツ語の体質の違いを感じてしまうのは、気のせいだろうか。

いずれにせよはっきりしているのは、言語の用法に唯一不変の正解はない、ということだろう。「正しい〇〇語」のような標語のいかにわしさにだまされないためにも、貪欲な外国語学習は役に立つと信じてやまない次第である。(担当は経済学史)

短縮版: 全文はCALL教室ホームページで

だ私にはこちらの方が正統派に見えるのである。何となく、現代の変化に対応させる英語と昔ながらの規則を守るドイツ語の体質の違いを感じてしまうのは、気のせいだろうか。

いづれにせよはっきりしているのは、言語の用法に唯一不変の正解はない、ということだろう。「正しい〇〇語」のような標語のいかにわしさにだまされないためにも、貪欲な外国語学習は役に立つと信じてやまない次第である。(担当は経済学史)

短縮版: 全文はCALL教室ホームページで

いづれも「彼女は私より年上だ」という意味の文で、前者は英語、後者はドイツ語である。私が驚いたのは、「than me」という表現だ。20年も前に学校で習った文法では、比較の基準とその対象は格をそろえなければならない、と教えられた。だから英文の場合、比較の対象(she)は主格な

スポーツ実践公開講座「開かれた大学」を目指し1987年、生田キャンパス近隣の市民を対象に始まった。指導はスポーツ研究所所属の教員があたり、体育会の学生もサポートしている。

今年度は夏期休暇を除く5月から11月までの毎週火曜日の午後、卓球、テニス、水泳、ゴルフ、バドミントンなど7種目を行った。40代から80代まで30人が参加し、初年度から続けて参加してい



教員の指導を受ける受講生の皆さん=生田キャンパス



左から佐竹所長、第一回から参加している受講生の大岡敏子さん、野呂進名譽教授11回記念パーティーで

スポーツ研究所(佐竹弘靖所長)の中高年向けスポーツ実践公開講座が今年度20回を迎えた。記念パーティーが12月5日、生田キャンパスで開催された。

同公開講座は「開かれた大学」を目指し1987年、生田キャンパス近隣の市民を対象に始まった。指導はスポーツ研究所所属の教員があたり、体育会の学生もサポートしている。

今年度は夏期休暇を除く5月から11月までの毎週火曜日の午後、卓球、テニス、水泳、ゴルフ、バドミントンなど7種目を行った。40代から80代まで30人が参加し、初年度から続けて参加してい

は素晴らしいこと。講師の中には五輪金メダリストがいるし、大学の施設を使えるところもうれい」と充実した講座内容を話す。

講座は来年度も継続して行われる。

での実習は「資料をみる目を養う」ところまでだったが、展示実習ができるようになり、さらに深く、活きた学びができるようになった。始まったばかりで手探りだが、いつか実習生企画の展示会を開催できるようにしたい」と話している。

展示は12月18日から21日の昼休みに公開した。

の。その基準となる「私」は主格(I)でなければならない、と思っていた。実際、ドイツ語では比較の対象(sie)に合わせて、その基準(ich)も主格になっている。ところが、こんにちの英語では違うらしい。

常用: She is older than me.  
まれ: She is older than I.

ああ、学校文法の弊害。そう嘆きたくなるが、私にはこの現象が「面白い」。たしかに、現在の英語では後者は古めかしい言い方かもしれないが、ドイツ語を学んだ私にはこちらの方が正統派に見えるのである。何となく、現代の変化に対応させる英語と昔ながらの規則を守るドイツ語の体質の違いを感じてしまうのは、気のせいだろうか。

いづれにせよはっきりしているのは、言語の用法に唯一不変の正解はない、ということだろう。「正しい〇〇語」のような標語のいかにわしさにだまされないためにも、貪欲な外国語学習は役に立つと信じてやまない次第である。(担当は経済学史)

短縮版: 全文はCALL教室ホームページで

いづれも「彼女は私より年上だ」という意味の文で、前者は英語、後者はドイツ語である。私が驚いたのは、「than me」という表現だ。20年も前に学校で習った文法では、比較の基準とその対象は格をそろえなければならない、と教えられた。だから英文の場合、比較の対象(she)は主格な

スポーツ実践公開講座「開かれた大学」を目指し1987年、生田キャンパス近隣の市民を対象に始まった。指導はスポーツ研究所所属の教員があたり、体育会の学生もサポートしている。

今年度は夏期休暇を除く5月から11月までの毎週火曜日の午後、卓球、テニス、水泳、ゴルフ、バドミントンなど7種目を行った。40代から80代まで30人が参加し、初年度から続けて参加してい



教員の指導を受ける受講生の皆さん=生田キャンパス



左から佐竹所長、第一回から参加している受講生の大岡敏子さん、野呂進名譽教授11回記念パーティーで

スポーツ研究所(佐竹弘靖所長)の中高年向けスポーツ実践公開講座が今年度20回を迎えた。記念パーティーが12月5日、生田キャンパスで開催された。

同公開講座は「開かれた大学」を目指し1987年、生田キャンパス近隣の市民を対象に始まった。指導はスポーツ研究所所属の教員があたり、体育会の学生もサポートしている。

今年度は夏期休暇を除く5月から11月までの毎週火曜日の午後、卓球、テニス、水泳、ゴルフ、バドミントンなど7種目を行った。40代から80代まで30人が参加し、初年度から続けて参加してい

は素晴らしいこと。講師の中には五輪金メダリストがいるし、大学の施設を使えるところもうれい」と充実した講座内容を話す。

講座は来年度も継続して行われる。

での実習は「資料をみる目を養う」ところまでだったが、展示実習ができるようになり、さらに深く、活きた学びができるようになった。始まったばかりで手探りだが、いつか実習生企画の展示会を開催できるようにしたい」と話している。

展示は12月18日から21日の昼休みに公開した。

の。その基準となる「私」は主格(I)でなければならない、と思っていた。実際、ドイツ語では比較の対象(sie)に合わせて、その基準(ich)も主格になっている。ところが、こんにちの英語では違うらしい。

常用: She is older than me.  
まれ: She is older than I.

ああ、学校文法の弊害。そう嘆きたくなるが、私にはこの現象が「面白い」。たしかに、現在の英語では後者は古めかしい言い方かもしれないが、ドイツ語を学んだ私にはこちらの方が正統派に見えるのである。何となく、現代の変化に対応させる英語と昔ながらの規則を守るドイツ語の体質の違いを感じてしまうのは、気のせいだろうか。

いづれにせよはっきりしているのは、言語の用法に唯一不変の正解はない、ということだろう。「正しい〇〇語」のような標語のいかにわしさにだまされないためにも、貪欲な外国語学習は役に立つと信じてやまない次第である。(担当は経済学史)

短縮版: 全文はCALL教室ホームページで

いづれも「彼女は私より年上だ」という意味の文で、前者は英語、後者はドイツ語である。私が驚いたのは、「than me」という表現だ。20年も前に学校で習った文法では、比較の基準とその対象は格をそろえなければならない、と教えられた。だから英文の場合、比較の対象(she)は主格な

スポーツ実践公開講座「開かれた大学」を目指し1987年、生田キャンパス近隣の市民を対象に始まった。指導はスポーツ研究所所属の教員があたり、体育会の学生もサポートしている。

今年度は夏期休暇を除く5月から11月までの毎週火曜日の午後、卓球、テニス、水泳、ゴルフ、バドミントンなど7種目を行った。40代から80代まで30人が参加し、初年度から続けて参加してい



教員の指導を受ける受講生の皆さん=生田キャンパス



左から佐竹所長、第一回から参加している受講生の大岡敏子さん、野呂進名譽教授11回記念パーティーで

スポーツ研究所(佐竹弘靖所長)の中高年向けスポーツ実践公開講座が今年度20回を迎えた。記念パーティーが12月5日、生田キャンパスで開催された。

同公開講座は「開かれた大学」を目指し1987年、生田キャンパス近隣の市民を対象に始まった。指導はスポーツ研究所所属の教員があたり、体育会の学生もサポートしている。

今年度は夏期休暇を除く5月から11月までの毎週火曜日の午後、卓球、テニス、水泳、ゴルフ、バドミントンなど7種目を行った。40代から80代まで30人が参加し、初年度から続けて参加してい

は素晴らしいこと。講師の中には五輪金メダリストがいるし、大学の施設を使えるところもうれい」と充実した講座内容を話す。

講座は来年度も継続して行われる。

での実習は「資料をみる目を養う」ところまでだったが、展示実習ができるようになり、さらに深く、活きた学びができるようになった。始まったばかりで手探りだが、いつか実習生企画の展示会を開催できるようにしたい」と話している。

展示は12月18日から21日の昼休みに公開した。

の。その基準となる「私」は主格(I)でなければならない、と思っていた。実際、ドイツ語では比較の対象(sie)に合わせて、その基準(ich)も主格になっている。ところが、こんにちの英語では違うらしい。

常用: She is older than me.  
まれ: She is older than I.

ああ、学校文法の弊害。そう嘆きたくなるが、私にはこの現象が「面白い」。たしかに、現在の英語では後者は古めかしい言い方かもしれないが、ドイツ語を学んだ私にはこちらの方が正統派に見えるのである。何となく、現代の変化に対応させる英語と昔ながらの規則を守るドイツ語の体質の違いを感じてしまうのは、気のせいだろうか。

いづれにせよはっきりしているのは、言語の用法に唯一不変の正解はない、ということだろう。「正しい〇〇語」のような標語のいかにわしさにだまされないためにも、貪欲な外国語学習は役に立つと信じてやまない次第である。(担当は経済学史)

短縮版: 全文はCALL教室ホームページで

いづれも「彼女は私より年上だ」という意味の文で、前者は英語、後者はドイツ語である。私が驚いたのは、「than me」という表現だ。20年も前に学校で習った文法では、比較の基準とその対象は格をそろえなければならない、と教えられた。だから英文の場合、比較の対象(she)は主格な

スポーツ実践公開講座「開かれた大学」を目指し1987年、生田キャンパス近隣の市民を対象に始まった。指導はスポーツ研究所所属の教員があたり、体育会の学生もサポートしている。

今年度は夏期休暇を除く5月から11月までの毎週火曜日の午後、卓球、テニス、水泳、ゴルフ、バドミントンなど7種目を行った。40代から80代まで30人が参加し、初年度から続けて参加してい



教員の指導を受ける受講生の皆さん=生田キャンパス



左から佐竹所長、第一回から参加している受講生の大岡敏子さん、野呂進名譽教授11回記念パーティーで

スポーツ研究所(佐竹弘靖所長)の中高年向けスポーツ実践公開講座が今年度20回を迎えた。記念パーティーが12月5日、生田キャンパスで開催された。

同公開講座は「開かれた大学」を目指し1987年、生田キャンパス近隣の市民を対象に始まった。指導はスポーツ研究所所属の教員があたり、体育会の学生もサポートしている。

今年度は夏期休暇を除く5月から11月までの毎週火曜日の午後、卓球、テニス、水泳、ゴルフ、バドミントンなど7種目を行った。40代から80代まで30人が参加し、初年度から続けて参加してい

は素晴らしいこと。講師の中には五輪金メダリストがいるし、大学の施設を使えるところもうれい」と充実した講座内容を話す。

講座は来年度も継続して行われる。

での実習は「資料をみる目を養う」ところまでだったが、展示実習ができるようになり、さらに深く、活きた学びができるようになった。始まったばかりで手探りだが、いつか実習生企画の展示会を開催できるようにしたい」と話している。

展示は12月18日から21日の昼休みに公開した。

の。その基準となる「私」は主格(I)でなければならない、と思っていた。実際、ドイツ語では比較の対象(sie)に合わせて、その基準(ich)も主格になっている。ところが、こんにちの英語では違うらしい。

常用: She is older than me.  
まれ: She is older than I.

ああ、学校文法の弊害。そう嘆きたくなるが、私にはこの現象が「面白い」。たしかに、現在の英語では後者は古めかしい言い方かもしれないが、ドイツ語を学んだ私にはこちらの方が正統派に見えるのである。何となく、現代の変化に対応させる英語と昔ながらの規則を守るドイツ語の体質の違いを感じてしまうのは、気のせいだろうか。

いづれにせよはっきりしているのは、言語の用法に唯一不変の正解はない、ということだろう。「正しい〇〇語」のような標語のいかにわしさにだまされないためにも、貪欲な外国語学習は役に立つと信じてやまない次第である。(担当は経済学史)

短縮版: 全文はCALL教室ホームページで

いづれも「彼女は私より年上だ」という意味の文で、前者は英語、後者はドイツ語である。私が驚いたのは、「than me」という表現だ。20年も前に学校で習った文法では、比較の基準とその対象は格をそろえなければならない、と教えられた。だから英文の場合、比較の対象(she)は主格な